

課題1・工夫した点

for文を使ってプログラムの見通しが良くなるように工夫しました。

課題2・工夫した点

一番外のfor文は一つにして、if文を使いそのfor文のiの値が三角形の一番下の実行まで行ったら、もう一度for文を初めて、今度は逆三角形を描くというふうにするこでひし形を実現しました。

課題3・工夫した点

ind(インデックスの略)という配列を作り、素数番目の配列の要素にだけ値を入れていくということをしました。for文の中では素因数分解の処理を行っています。そこでindの素数番目の要素をインクリメントすることでなんかいその素数がかかっているかを出せるのではと思い実装しました。そこが課題3で一番工夫した点だと思います。

課題4・工夫した点

日付の合計を出す処理や、その日付が歩かないかを判定する処理など、日付が関係してくる処理を実装するために、col(カレンダー)という配列を作り、そこに各月の日数を格納していくというやり方を取りました。なにもないところから日付を用いるためにはどうしたらよいかということでそこが一番工夫した点です。しかしその後の処理が長くなってしまったので、もう少し改善の余地はあるかと思います。

課題5・工夫した点

素数の出し方ということで素数がどういうものかがまずわからなかったので、どういうものが素数であるのかはまず調べました。そこで約数を2つ持つものという条件が非常に使いやすそうだったので、For文のなかで約数の変数を用意し、それをインクリメントしていった最終的に約数が2つだったものだけ表示するという処理を行いました。なのでこの課題5で一番工夫した点は素数の判定の処理をするところだと思います。